

はばたき

男と女がともに歩む情報紙 第42号

平成24年6月発行

企画・発行/海老名市市民活動推進課

人権男女共同参画係

TEL: 046-235-4568【直通】

第1回男女共同参画講演会

保育あり
(2歳～未就学児)

ドラマを見て話そう！考えよう！

家政婦のミタ

6月29日(金)

午前10時～正午



講師

東洋英和女学院大学
人間科学部

ふじむら くみこ
藤村 久美子教授

会場 海老名市役所7階
701会議室

■ 定員…50人



事前申込制
(保育とも)

昨年の人気ドラマ『家政婦のミタ』を見ながら感じたことを話しませんか？家事・子育ては女性の役割なのでしょうか？講師のセリフ分析から、本当の幸せな家庭像を探しませんか？ぜひ、ご参加ください。

申し込みは、市民活動推進課 人権男女共同参画係 (046-235-4568=直通) へ。
☆右上のQRコードでインターネット申込みができます。(6月1日から使用可能です。)

携帯電話用 スマートフォン用



「家政婦の仕事=家事=妻がやること」と思っていませんか？

「固定的性別役割分担意識」

漢字で書くと何のことか全くわからないと思いますが、例を挙げると、「男は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方のことなどを言います。

平成21年に国が行った意識調査では、「夫は外で働き妻は家庭を守るべきである」という考え方について、55.1%の人が反対と答えました。つまり、半数以上の方は、家事・育児・介護は男女が協力してやるべきだと考えています。しかし、日常生活に目を向けると、男性は長時間労働のために、もっと家庭に関わりたいたいと思っても関わられず、そういった状況下にある家庭では、家事・育児・介護の多くを女性が担っているという現状があります。このため、育児を理由に、仕事をやめてしまうことが多く、再び働くときはパートなどで働くことが多くなっています。

【育児は妻一人でするものじゃない】

固定的性別役割分担を見直すためには、社会全体の“育児は女性がするものだ！”という意識を変えることとともに、男性がもっと育児や家事・介護に参加できるように、現在よりも仕事の時間数を減らす仕組みづくりが重要です。

考えてみよう「男らしさ」「女らしさ」

私たちの日常を注意深く観察してみると、この「男らしさ」「女らしさ」から生まれるイメージがマイナスに働いてしまっていることが少なくありません。

例えば、「男らしさ」「女らしさ」にとらわれ過ぎて、「男はこうあるべき」「女はこうでないといけない」といったふうに自分を押しつけてしまい本当の自分を表に出せなかったり、そういった考え方を相手に押し付け、嫌な思いをさせたしまった等、思い当たることはないでしょうか？

人生の様々な場面で、「男だから」「女だから」という理由のみで個人が判断されてしまう社会は誰にとっても生きにくいものであり、「男」「女」である前に一人の人間として、誰もがその個性を尊重され、「自分らしく」夢や希望を持って生きていける社会を実現しようと言うのが男女共同参画の考え方です。

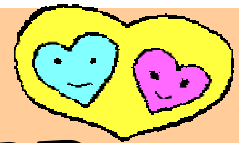


男女共同参画
シンボルマーク

海老名市の推進体制は？

市では、男女共同参画社会形成促進のための基本計画「海老名市男女共同参画計画」を策定しています。内容については、市役所窓口で要約版を配布しているほか、全容を市ホームページから入手できます。

6月23日土から29日金まで



男女共同参画週間 です

「男女共同参画社会」って何？

「男女共同参画」とは、男性、女性といった性別で区別することなく、すべての人が一人の人間として平等に扱われ、社会のあらゆる分野での活動に男女がともに参画し、ともに責任を担うという考え方です。

「参画」には、物事の計画や決定の段階から参加し、対等な立場として意見を出しあい、そして、責任も分かち合うという意味があります。



男女共同参画の推進 ～女性委員登用率の状況～

市民生活をよりよくするためには、老若男女を問わず多様な人材を活用するとともに、多様な視点や新たな発想を取り入れていくことが重要です。本市における女性の政策方針決定過程への参画状況は、平成18年度の審議会等への女性委員登用率が19%でした。その後、女性委員登用推進要綱を定め積極的に取り組んだ結果、平成23年度には、女性委員の登用率は26.1%になり、5年間で7%も登用率が上がったこととなります。もちろんまだ十分とは言えませんが、女性のあらゆる分野への参画が進めば、更に前進していくことでしょう。

～平成24年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ～

内閣府では「男女共同参画による日本再生」を分かりやすくアピールするキャッチフレーズを募集し、応募総数2,921点の中から、審査の結果、以下の作品を選びました。

“あなたがいるわたしがいる未来がある”



男女共同参画推進員が決定しました!!

男女共同参画推進員に 15 名の方が名乗りを上げてくださいました。今後は市と共に、男女共同参画の啓発紙発行や講座の企画など、男女共同参画事業へのお手伝いをさせていただきます。

えびーにゃと一緒に!

6月28日(木)午後2時から海老名駅自由通路にて、男女共同参画推進員とえびーにゃが啓発活動をおこないます。2択で答えることのできる簡単な質問をしますので、男女共同参画について一緒に考えてみませんか?

推進員の皆さん



相談室 から

海老名市では、「女性相談員による女性のための相談」を実施しています。自分自身の生き方、夫婦・家族のこと、夫・恋人からの暴力などについて、相談者が自分らしく生きるために一緒に考えます。

☎ 女性相談ダイヤル 231-2224

受付時間 月～金(祝日を除く)10時から17時まで



世界の国の男女共同参画



国連開発計画の調査報告で何度も世界一住みやすい国に選ばれているノルウェーは、先進国の中でもとりわけ女性の社会への参画が進んでいる国で、「クオータ制」の発祥地でもあります。

【クオータ制とは】

ノルウェーも半世紀ほど前は、日本と大差のない男性中心の国でしたが、現在のように男女共同参画が進んだのは、「クオータ制」という政策ができたからです。

「クオータ制」とは、どちらかの性が40%を割ってはいけないとする割り当て制度。政党や公的決定機関、そして企業(取締役)にも取り入れています。女性が政策決定にかかわることで、女性に優しい政策決定がなされ、結果として男性にも優しい社会になっています。

このように、組織の意思決定機関に参画する女性を増やそうというノルウェーの取り組みは、世界的にも注目を集めています。

ジェンダー・ギャップ指数(世界経済フォーラムが、各国内の男女間の格差を数値化しランク付けしたもの)をみると、ノルウェーは2位、日本は94位となっています。(平成23年度版男女共同参画白書から引用)